

令和4年度第一回義務教育学校検討委員会

令和4年5月17日 15:00～

定山溪中学校会議室

司会 定山溪中学校 教頭 佐々木絵里子

- 1 開会の挨拶 定山溪中学校 校長 小林 大介
- 2 自己紹介
- 3 概要説明
- 4 協議事項
 - (1) コミュニティ・スクールについて
 - (2) 準備委員会設立に向けて
 - (3) 推進日程について
- 5 連絡、その他
- 6 閉会の挨拶 定山溪小学校 校長 金野 智

<参加者> 敬称略

所 属	役 職	氏 名
地域・評議員関係	定山溪連合町内会会長	陰元 潤一
	体育・青少年育成部長	江刺家 博
	学校評議員（小中兼務）	井口 榮子
	まちづくりセンター所長	長岡 佑介
PTA 関係	定山溪小 PTA 会長	奥田 康博
	定山溪中 PTA 会長	山内 幸江
児童会館	定山溪小ミニ児童会館館長	酒井 久美
学校関係	定山溪小 校長	金野 智
	定山溪小 教頭	石川 直道
	定山溪中 校長	小林 大介
	定山溪中 教頭	佐々木絵里子
市教育委員会	教課程担当課	アルティ みお
	教育推進課	柴垣 孝治

1 コミュニティスクール制度の経緯

・近年、学校を取り巻く課題が山積して、かつ複雑化、困難化を極めており、こうした課題に対応するためには、学校だけでなく、家庭・地域が相互に連携協力することがこれまで以上に重要であるとの考えから平成16年に地教行法改正によりコミュニティスクールが制度化され、平成29年度からは設置について教育委員会の努力義務となっている。

2 コミュニティスクールとは

(1) コミュニティスクールの制度概要

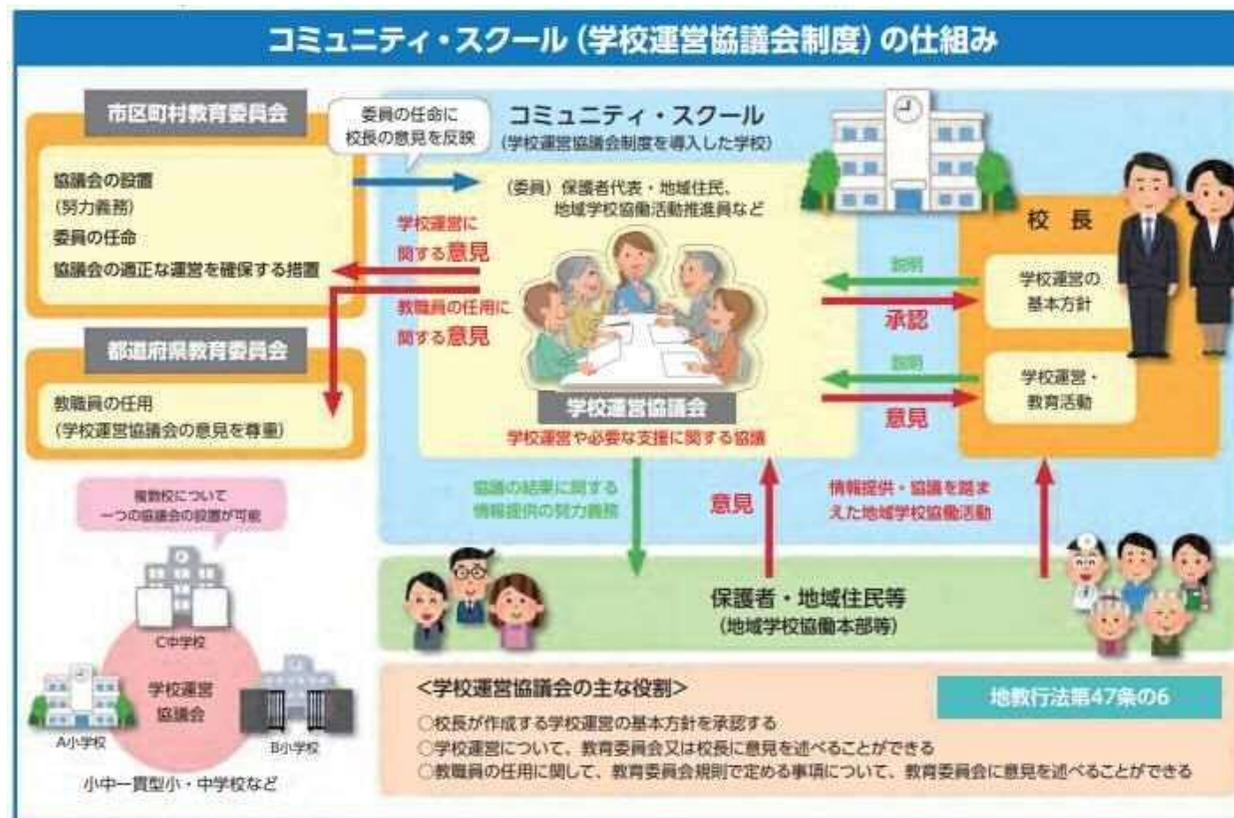
・コミュニティスクールとは、「学校運営協議会」を置く学校のこと。

(2) 全国の設置状況

・全国の自治体のうち57.4%がコミュニティスクールを導入済み（R3.5時点）

3 札幌市の現状

- ・令和4年度より「小中一貫した教育」が全面実施となった。
- ・パートナー校で目指す教育の姿（ランドデザイン）を作成し、9年間の連続性・系統性のある教育活動の一層の推進を目指している。
- ・「小中一貫した教育」を推進する4つの視点の一つに家庭や地域との連携がある。



地域とともにつくる(仮称)定山溪義務教育学校(素案)

★ 義務教育学校のメリット

- 定山溪地区に設置される義務教育学校には、以下のメリットがあると考えています。
 - ・ 9年間の学びを柔軟にデザインできる
 - ・ 児童生徒一人一人を9年間見守ることができる
 - ・ ひとつの教職員組織で一体となった運営がしやすい
 - ・ 家庭や地域と9年間安定した関わりを持ちやすい
 - ・ 児童生徒の幅広い異年齢交流が日常的にできる
 - ・ 小中教員が過度な労力なしに連携でき、様々なメリットを生かしやすい

- 地域との安定した関わりも義務教育学校の大きなメリット
- 定山溪地区らしい魅力ある学校づくりにあたっては、地域の方と一緒に学校づくりを行いたい



★ 学校づくりのイメージ

○ テーマ例

(仮称)定山溪義務教育学校の児童生徒を増やす

- 保育園には10名の新小1がいるが、定山溪小学校に通うのは2名。
- 定山溪地区の教育が非常に魅力的になれば残る8名も通ってくれるのではないかと。
- また、保育園を活用している人は定山溪地区で働いている人たちでもあり、当該取組は定山溪地区の事業者にとっても望ましいことなのではないかと。

○ 具体的な取組例

- ◆ 英語教育の推進
少人数であることを逆手にとって、ALT(外国人指導助手)の児童生徒1人あたりの効果は高く、海外からの訪問者も多い定山溪地区には、外国語を得意とした方もいらっしゃるものと推察され、そうした方々の協力も得て、全市随一の手厚い英語教育を推進
- ◆ 地域と一体となった総合的な学習
定山溪の温泉街のお土産開発などを義務教育学校とともに実施するなど、地域と一体となった学習を実施

○ 進め方イメージ

- ◆ 上記テーマ等を軸に地域と学校が話し合いを行い定山溪地区にふさわしい魅力ある義務教育学校について議論を深め、地域も主体となって、子どもたちを育てるプロジェクトに参加いただきたい。
- ◆ また、先進事例の調査も想定しており、地域、学校、教育委員会での先進事例調査(他都市視察出張)も行いたいと考えている。

1 令和4年度の準備委員会について（構想）

- (1) 検討部会を設置し、必要な業務の検討・整理を行う。
- (2) 小学校、中学校、保護者、地域、検討委員会等、それぞれの役割分担を行う。
- (3) 組織

部会(係)		構成員(小中)	検討内容(概要)
教育課程編成部会	学校経営	校長 教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標 ・経営方針 ・経営の重点 ・学校経営グランドデザイン
	教務研修	教務担当者 研修担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・教務関係（年間行事予定、日課、時間割 教科指導計画、評価評定、テスト、学道総、進路指導、儀式、旅行的行事） ・研修関係（研修テーマ、研修推進計画、定山溪スタイル） ・ICT関係
	指導保体	指導担当者 保体担当者 養護教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外の生活のきまり ・登下校指導 ・児童生徒会(委員会、集会活動等) ・体育、部活動(体育的行事等) ・保健給食指導(保健指導、清掃指導、食指導等) ・危機管理
施設設備部		学校事務職員 教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・一般備品（備品確認、台帳整理） ・図書（台帳整理、移動計画） ・職員PC関係 ・文書管理
PTA部会		教頭 PTA担当者 PTA役員	<ul style="list-style-type: none"> ・役員構成 ・専門部会 ・事業、規約、PTA総会
CS検討部会		校長 検討委員会 教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員構成 ・目的、推進方法 ・具体的取り組み、年間計画

2 令和4年度 義務教育学校設立推進日程

- 義務教育学校検討委員会
- 小中一貫した教育推進員会（校長、教頭、小中一貫した教育担当教諭、研修係）
- 小中一貫事業

5月	6月	7月	8月	9月
 <ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会 (17) 	 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育推進員会 (20) 		 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫事業 (23) 	
 <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校準備委員会 (各部会) 				

10月	11月	12月	1月	2月	3月
 <ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会 () 			 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫事業 (17) 	 <ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会 () 	
 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育推進員会 () 					
 <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校準備委員会 (各部会) 					